



岸田パパが長男翔太郎をクビにしたのは公邸の不適切行動が原因でない。それが「バレたから」である。もはや「岸田政権の腐敗」は歴代最高水準に達している。

1件のメッセージ

藤井聡・クライテリオン編集長日記 <m00178@foomii.com>

2023年5月30日 3:42

返信先: info@foomii.com

To: 3443akira@gmail.com

ウェブで読む (推奨) : <https://foomii.com/00178/20230530033353109661>

////////////////////////////////////

藤井聡・クライテリオン編集長日記 ~日常風景から語る政治・経済・社会・文化論~

<https://foomii.com/00178>

////////////////////////////////////

昨年12月30日に、岸田総理の息子で、総理秘書官を務める翔太郎氏が、岸田一族を総理公邸に集め、忘年会を行い、「大はしゃぎ」をしている様子の写真が流出し、週刊誌で報道され、今、大騒ぎになっている。

昨今、SNSでくら寿司で醤油をなめたり、寿司を舐めて戻すという「おふざけ」動画が投稿され、大炎上するという問題が繰り返されたが、今回の公邸大はしゃぎ写真は、それと全く同じ構図にある。撮影される方、撮影する方は、単なる楽しいお巫山戯のつもりだったからだ。

翔太郎氏の弟（外国人の人材派遣会社を営んでいるらしい）は、醤油舐めの奴と同じように「こんなこと、ここでやっちゃイカンだろ!？」と思いながら、笑いながら公邸の階段でふざけて寝そべっているわけだ。階段で「組閣」風の写真も、記者会見風の写真も皆同じだ。

彼らにしてみれば、それが「ヤバい事」つまり「ワルい事」であればあるほど「愉快」になるわけで、その構図は「くら寿司醤油舐め男」と全く同じだ。

しかし、その「ヤバい事」「ワルい事」は、本当にヤバい事・ワルい事で、一般社会に出てしまえば、途轍もない「罪」であるため、大炎上となる、という次第だ。

ただし...「くら寿司醤油舐め男」と「翔太郎」とは一つだけ大きな違いがあった。

「くら寿司醤油舐め男」は、お縄になってしまったが、「翔太郎」は、お父さんからきつく叱られただけで、特に何のお咎めもない...と当初言っていた。

それについて、世論は激しい怒りを表した。

で、それに対してあわててパパは、急遽、クビにすることとした。

しかし、クビにすりゃあそれでいい、というわけではない。

そんな男を総理秘書官という極めて重要なポジションに任命したパパの責任は重大だ。

クビにしなけりゃ、そんな責任、いわゆる任命責任は問われなかった。

しかし、クビにした以上、そんなフザケたガキを総理秘書官という重要なポジションに任用したのはなんでなんだ!?!?という問題が生ずる。

しかも重要なのは、このフザケた忘年会があったことを、パパは知ってたのに、今までだまっていたところだ。

そもそも首相動静によれば、忘年会の時間帯に岸田文雄は、公邸に立ち寄っている。ということは、このフザケた忘年会に、パパも同席していたのだ。

それにも関わらず、今までバレなかった、というだけの理由で、息子をクビにはしなかったんだ。

つまり今回文春にすっぱ抜かれ、息子のフザケた振る舞いがバレなかったから、パパは黙っていたわけだ。

...というか、そのフザケた忘年会にパパも出てたのなら、その時に叱りつけ、クビにすべきだったのだ！

つまり、今回パパが、息子をクビにしたのは、公邸での不適切な行為が「あったから」なのではない。偏に「バレたから」クビにした、というだけの話なのだ。

...

以上の解釈を多くの国民は共有していることだろう。

筆者もまた、そういう風に解釈する他、解釈のしようがないと考えている。

そうである以上、本件は、岸田政権の政権腐敗が、度しがたいレベルに達している事を明確に指し示す実証事例となっていると考える他ないのである。

「政治腐敗」の一般的な定義は、

「本来、国家公共のために用意されている政治権力を、
国家公共のために使わずに、私的な目的のために流用することが
当然となってしまっている状況」

というものである。

それでいくと、岸田翔太郎は、

「公邸を使えるという政治権力を、一族の楽しいふざけた忘年会に使った」

わけであるし、岸田一族は、

「翔太郎や文雄が持っている公邸を使えるという政治権力を、自分たちの楽しいふざけた忘年会に活用した」

わけである。そして、その父の岸田文雄は、週刊誌ですっぱ抜かれてバレルまで息子をクビにしなかったということは、

「更迭するか否かという権限を、自分の息子を守るために使っていた」

というわけだ。

ちなみに、翔太郎は、

「総理と一緒にフランスに行けるといいう政治権力を、私的な買い物に使った」

という前科もある。

つまり、岸田文雄は、自分が総理大臣だということを良いことに、そこで手に入る権限を駆使して好き勝手にやってきたわけだ。

これこそ、政権腐敗の典型なのだ。

もちろんこれまでの政権もそれなりに腐敗してただろうが、息子や一族郎党にまで、その権限を配るなぞという、まるで隣の半島の国のようなはしたないまねをするような総理など、聞いたことがない。

かくして岸田文雄の政治腐敗は、歴代政権中トップレベルにあると言わざるを得ないわけだ。

誠にもって遺憾な話だが、岸田文雄は、その総理権限をあらゆる「私利私欲」のために活用していると判断せざるを得ないだろう。

増税、G7、ウクライナ訪問等、全て、国益のための見せかけて、全て保身と支持率向上のためにやっていると解釈せざるを得ないのだ。

繰り返すが、誠にもって遺憾である...

追伸：“ご質問”は随時、受け付けています！このメールアドレス宛に直接ご返信下さい。

////////////////////////////////////

本ウェブマガジンに対するご意見、ご感想は、このメールアドレス宛に返信をお願いいたします。

////////////////////////////////////

■ ウェブマガジンの購読や課金に関するお問い合わせはこちら

info@foomii.com

■ 配信停止はこちらから：<https://foomii.com/mypage/>

////////////////////////////////////